



公益財団法人 友愛

2023 年度
事業報告

I はじめに

（設立）

一般財団法人友愛は、昭和 28 年（1953 年）に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和 34 年（1959 年）に財団法人日本友愛青年協会（所管文部省）として設立された。平成 23 年（2011 年）4 月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して公益事業を継続。平成 29 年（2017 年）12 月 22 日付で、名称を一般財団法人友愛に変更した。そして、平成 31 年（2019 年）3 月 28 日公益財団法人として認定される。

（目的）

この法人は、自立と共生の友愛の理念の下に、国内外の青年や社会人の交流を深め、友愛の理念を次世代に継承、発展させる人材を育成し、もって世界平和に資することを目的とする。（定款より）

Ⅱ 概況

総括

2023年の事業報告として、真っ先に挙げたいのは本財団が創立70周年を迎え、その記念式典が行われたこと、そして70周年を記念した楽曲『希望の道』が渡邊康雄氏によって作曲され、その演奏及びこれまでの軌跡を辿った動画『未来へつなぐ』が作成され、記録的資料と共に納められたDVDセットが完成したことである。

1953年友愛青年同志会として発足した本財団は、社会状況の変化と共に紆余曲折を経て現在の公益財団法人友愛に至った。この間、黎明期から今日まで築き上げ継続させてきた先人たちのご努力に、敬意と感謝の念を捧げたい。

幸い、これを継承させていく若い力も育ってきている。今年度実施することができたOEJAB派遣も、本年度は過去最高の応募者があり、年々応募者が増えている状況で、選考委員各位の嬉しい悲鳴が上がっている。年度末3月の派遣であったため、派遣員の報告は次年度となるが、毎年寄せられる内容に、この事業の目的である、国際交流・平和についての学習・友愛理念の体感などが感じられ、やりがいのある事業であると実感させられる。併せてその派遣員を中心とした「友愛ユニオン」の活動も活発になっており、70周年記念式典の折には受付を担当し、訪れる方々から「隔世の感がある」との言葉をいただいている。友愛ユニオンからは、理事、評議員も誕生し、本財団の活動の充実を図ってくれている。ミャンマーの国情が安定しないまま、当財団としてできることを探っていた「ミャンマー農業指導者育成事業」は、東京農工大学藤井義晴名誉教授のご協力を得て、ミャンマーの農業の発展に必要なのは堆肥づくりであるとの結論を得た。そして次年度は堆肥づくりのパンフレットを作成しミャンマーに配布する予定である。

友愛小論文コンテストにおいては、この事業の開始以来、中国国内の大学を対象に実施しており、本年度も中国国内の二校に於いて実施すべく打ち合わせを進めていたが、中国側の受入体制の変更があり、本年度の実施を断念せざるを得な

い状況となった。当財団としては、視野を広げ、韓国での実施を模索してきた。2023年度内の実施こそ実現しなかったが、次年度実施の基盤を構築しており、着実な前進がみられる。

加えて、それらの事業に「友愛ユニオン」のメンバーが積極的に参加し、友愛の基盤を盤石な方向へ誘ってくれていることは正に、「未来へつなぐ」が具現化していると感じられる。

創立70周年は大きな節目ではあるが、決して到達点ではなく、次年度からも「未来へつなぐ」ことを念頭に、活動を続けて行きたい。

世界の各地で戦火の絶えない現実の世界を前に、今こそ人々の心の中に友愛理念が必要であること、平和に必要なのは友愛理念であることを再び強く自覚し、我々の財団の社会的役割を果たしていく覚悟を示し、本年度の総括としたい。

Ⅲ 公益事業実施報告

1、国際交流事業

（定款 第 4 条 第 1 項 第(1)号に基づく事業）

(1)OEJAB 派遣

事業概要

国際相互理解促進のための交流を実践する事業である。人材育成及び支援事業として友愛派遣員等の交流を通じて、相互理解、相互尊重、相互扶助を両国の若者が実践する機会を与える。具体的には、永年協力関係にあり、協力協定を結んでいるエヤップ（OEJAB/オーストリア勤労青年連盟）と協力し相互交流の機会を設ける。 *文中敬称略

事業実施

① 2023年度派遣員募集

▶ポスター郵送 2023年 6月12日（月）
全国国公立大学及び都内近郊私立大学43校へ
掲示等による学生への周知を依頼

▶応募締め切り 2023年 9月30日（土）

② 選考委員会選考

▶応募者人数 59名

▶提出書類【申込書（写真貼付）、教授の推薦状（書式自由）、参加希望動機・自己紹介文（書式自由、800字以内）、成績表、自己紹介動画（1分以内）】

上記提出書類及び動画を以って、選考委員が採点した上で、下記のとおり選考委員会を開催、協議の上、下記記載の6名（2022年度は男2名、女4名）を派遣員候補として理事会に諮問する。



ポスター

選考委員会概要

日時 2023年10月26日（木）18:00～20:00
場所 友愛サロン、Web オンライン参加
出席者(Web)谷藤悦史 早稲田大学名誉教授
(Web)戸澤英典 東北大学教授
(Web)星田 寛 公益財団法人 公益法人協会 相談員
田中佐知子 仁平総合法律事務所 弁護士
西川伸起 公益財団法人友愛 理事OEJAB 受入・派遣事業担当
羽中田元美 公益財団法人友愛 事務局長

欠席者 田中正基 京都府立洛水高等学校教諭
初瀬智彦 日本橋総合登記事務所 司法書士
河口ハルトマンミヒヤエラ 公益財団法人友愛 顧問

選考委員会選考結果

(学年：応募時)

出倉 正啓	東京大学 理学部	4年	男性
大野 誠尚	東北大学大学院 工学研究科	2年	男性
巳上 小楽咲	中央大学 法学部	2年	女性
矢野 由佳	北海道大学 農学部	4年	女性
金子 紗也佳	千葉大学 医学部	6年	女性
三浦 愛佳	九州大学 共創学部	3年	女性

以上6名を理事会に報告することを出席の選考委員が認めた。

③ 理事会決定

選考委員会の諮問を受け、第31回 理事会（2023年11月10日）において、選考委員会の報告、原案の6名を2023年度の派遣員として決定した。

④ 結果通知

▶派遣人数 6名 【男子学生2名，女子学生4名】

2023年11月10日付で選考結果を下記の各位に郵送した。

- ◆応募者本人 全員【結果通知・友愛活動への誘い・記念品／USB】
- ◆推薦教授・教諭 全員【結果通知及び協力への御礼・記念品／USB】

⑤ 派遣前 事前研修会

2024年3月の派遣に向け事前研修会を開催した。

第 1 部：友愛の歴史を学ぶ

2023 年 12 月 23 日（土）9：00～12：00

於：友愛サロン

▶講師

- ・戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）
「クーデンホーフ＝カレルギーの劇的な生涯と後世への影響」
- ・西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
「友愛の歴史」



- ・谷藤悦史 早稲田大学名誉教授（公益財団法人友愛 理事）
「友愛理念について」

▶参加者

- ・井田安信（公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当）
- ・後藤大智（公益財団法人友愛 理事 2019年度友愛派遣員）
- ・河口ハルトマンミヒャエラ（公益財団法人友愛 通訳）
- ・鈴木健太（2021年度友愛派遣員）
- ・橘 颯太郎（2022年度友愛ユニオン）



第 2 部：鳩山会館見学

2023 年 12 月 23 日（土）14:00～15:00

引率者：後藤大智（公益財団法人友愛 理事 2019 年度友愛派遣員）
鈴木健太（2021 年度友愛派遣員）
藤田脩椰（2022 年度友愛派遣員）

研修会（補修）

2024 年 1 月 12 日（金）10:00～14:00

2023 年 12 月 23 日に体調不良のため出席できなかった 2023 年度派遣員の金子紗也佳さんのために事前研修が行われた。

- ▶講師：西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
- ▶参加者：井田安信（公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当）
金子紗也佳（2023 年度友愛派遣員）
已上小楽咲（2023 年度友愛派遣員）
出倉正啓（2023 年度友愛派遣員）

Web 参加

大野誠尚（2023 年度友愛派遣員）
矢野由佳（2023 年度友愛派遣員）



⑥ 派遣実施

2024 年 3 月 3 日（日）～ 3 月 12 日（火）

3 月 3 日（日）、羽田から 2023 年度 OEJAB 派遣員 6 名が、ウィーンに向けて出発した。

一行は、事前に空港内会議室に集合し、出発前最後の研修を受け、三人の理事に見送られての出発となった。

今回の派遣員には、CTBTO訪問、日本大使館訪問、難民施設訪問など、充実のスケジュールが予定された。

3月12日（火）に帰国。現地での体験を写真と文章で綴る「報告書」が4月には提出される。



2024年3月3日～3月12日（計6名）【年齢は応募時】

派遣員

出倉 正啓	（2023年度派遣員）	22歳男性
大野 誠尚	（2023年度派遣員）	24歳男性
巳上 小楽咲	（2023年度派遣員）	20歳女性
矢野 由佳	（2023年度派遣員）	21歳女性
金子 紗也佳	（2023年度派遣員）	23歳女性
三浦 愛佳	（2023年度派遣員）	21歳女性

(2)OEJAB 受入

事業概要

国際交流事業の一つとして実施している本事業は、姉妹団体提携をしているOEJABの推薦する若者を受入、日本についての理解を深め、平和への思いを両国の若者が共通認識できる機会を提供すべく実施されている。

事業実施にあたってOEJABとの話し合いを進めるなかで、年間6名の学生を広く募り、日本へ派遣する方向で進めて行くこととなった。しかし、年間6名の派遣を毎年実施することは、OEJABにとって負担が大きく、2年毎に12名を派遣したいとの申し入れがあり、理事会での承認を受け、2年毎12名の派遣員を受け入れる事業として実施することとなった。

事業実施

- ①実際に来日が実施されるのは、2024年度となるため、2023年度はそのための準備を進めることとした。
- ②平和に関する学習・体験の機会は、広島市松井一實市長のご協力を得て、祈念公園での献花、資料館の見学、及び松井市長からの平和への取り組みについてのお話を伺う機会を得ることができた。
- ③上記②のプログラムを中心に、スケジュールを設定し、OEJABとの了解を取り付けながら、その他のプログラムを作成した。
- ④来日する方の人数が12名と多いこともあり、国内での日本文化に触れるための見学、訪問に関しては、友愛ユニオンのメンバーから有志を募り、アテンドを担当すべく設定した。
- ⑤上記④にあるよう、来日したOEJAB派遣員と、友愛ユニオンのメンバーが直接交流する機会を設け、次代を担う若者の国際交流の推進を図ることとする。

2024年3月末現在のOEJAB派遣員受入のスケジュールは、下記の通りである。

2024年OEJAB受入事業スケジュール案

	内 容	場 所	午前	午後	同行/アテンド
8月20日(火)	出発	ウーン			
8月21日(水)	来日	東京	到着EK999便 成田着17:30	第二ターミナル休憩(自由)	友愛ユニオン 西川/羽中田/井田
8月22日(木)	相互文化理解	浅草	浅草寺	スカイツリー	友愛ユニオン
8月23日(金)	相互文化理解	上野	国立科学博物館	上野の森、 東京都美術館	友愛ユニオン
8月24日(土)	友愛交流会	友愛事務所	理事長講演会	講演会、グループディスカッション、	友愛ユニオン/ミヒエラさん/ 羽中田/井田
8月25日(日)	友愛交流会	鳩山会館	鳩山会館見学	移動/広島へ	友愛ユニオン/ミヒエラさん/ 羽中田/井田ユニオン
8月26日(月)	平和について学ぶ	広島	宮島(厳島神社)	鯉城見学	友愛ユニオン/羽中田/井田
8月27日(火)	平和について学ぶ	広島	広島市長訪問、見学 松井一實市長との面談	平和記念資料館、献花 移動/京都へ	友愛ユニオン/羽中田/井田
8月28日(水)	相互文化理解	京都	宇治平等院	伏見稲荷	友愛ユニオン/羽中田/井田 田中正基
8月29日(木)	相互文化理解	京都	市内見学 (建仁寺、金閣寺)	市内見学、 移動/東京へ	友愛ユニオン/羽中田/井田 田中正基
8月30日(金)	自由時間	東京	原宿・渋谷など	友愛理事との懇親会(夜)	鳩山理事長、井上理事、
8月31日(土)	自由時間	東京	国会議事堂見学		
9月1日(日)	自由時間	東京			
9月2日(月)	帰国	成田	帰国EK999便 成田発22:30		ミヒエラさん/西川/ 羽中田/井田

(3)ミャンマー農業発展支援・農業指導者育成事業

事業概要

貧困の解消は、世界平和の基盤であり、ミャンマーも例外ではない。経済基盤を農業に求めているミャンマーに向けて、農業発展支援・農業指導者の育成をするための事業である。派遣された研修生等に、ミャンマー農業発展に資する指導者としての必要な研修及び農業発展技術習得の情報を与え、その活動を支援するものである。

事業の目的として次の内容を挙げている。

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。

研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を緊密なものにする役割を担ってもらう。

同時に日本国内の若者に、アジアの他国の実情を知る機会ともなり、相互理解の推進につながる。

事業実施

事業実施において必要な、「人材の往来が安全で自由であること」の条件が満たされないまま今年度も終始した。しかし、昨年度来取り組んできた「堆肥作りパンフレット」の作成に向けては、東京農工大学藤井教授、南埜幸信理事(東京農工大学卒)のご協力を得て、具体的な方法、その為の人材の確保など、進捗がみられた。

また、下記⑥に記した「千葉県いすみ市高秀牧場」見学時に、代表の高秀憲二さんより、ご協力いただけることにもなり、パンフレット作成に向けての具体性が増した。

今年度は、下記の通り事業推進に向けての打ち合わせ・見学を実施した。

打合せ・見学等実施

① 2023年4月16日 10時～

・在日ミャンマー人のミヤットウーさんと、日本でミャンマーの農業に必要な肥料や緑肥の勉強をしていただき、ミャンマーに帰ってそれを実践していただく研修生の人選について打ち合わせを行った。第一候補としてイエジン農業大学の先生を考え、事業として進めていくことについて、ミヤットウーさんの理解を得て進めることとなった。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん
- ・井田理事

② 2023年7月14日 12時～

- ・国立東京農工大学名誉教授の藤井義晴先生と研修生の人選について、在日ミャンマーの方々と情報を共有させていただいたことを報告した。
- ・複数の研修生の候補について、プロフィールをもとに候補者の優先順位を確認した。第一候補として、前回JICAのプロジェクトで訪日したプーさんがふさわしいという結論になった。

—出席者—

- ・藤井名誉教授
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

③ 2023年8月18日 11時～

- ・研修生候補のプーさんについて、訪日した際の研修内容や時期、大まかな費用について話し合いを行った。
- ・プーさんは、ミャンマーの植物の研究、生態学的に植物を助けるものの研究を行っている。ミャンマーで、堆肥や緑肥の研究を行うには、友愛ファームの活用とミャンマーにいる既友愛研修生の協力が必要であることを確認した。

—出席者—

- ・藤井名誉教授
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

④ 2023年8月25日 15時～

- ・ミヤットウーさんとミャンマー農業指導者育成事業の研修生候補選抜について、進捗状況を共有した。
- ・堆肥の効果を実証するために、「友愛ファーム」を拠点としてミャンマーの近隣農家に農業の実践指導をしていくことが大切であり、ミャンマーにいる既友愛研修生の協力いただくことが必要であることを共有した。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん
- ・井田理事、羽中田事務局長

⑤ 2023年9月20日 18時～19時

- ・運営委員会において、「ミャンマーの平和を創る会」共同代表亀山仁様、大槻

美咲様の活動報告を聞き、ミャンマーの現状について勉強会を行った。

・「ミャンマーの平和を創る会」は、クラウドファンディングにて寄付を集め、ミャンマー難民に対する人道支援、留学生支援、ミャンマーの現状を理解する啓発活動を行っている。

—出席者—

- ・ 亀山仁様、大槻美咲様
- ・ 芳賀理事、西川理事、井田理事、攪上理事、羽中田事務局長

⑥ 2023年9月21日 9時～18時

・完全循環型酪農を行っている千葉県「高秀牧場」を訪問し、代表の高橋憲二様より牛の糞から作る堆肥について説明を伺った。

・「高秀牧場」では、肥料のうち85%を自前の肥料を使っている。牛の糞や尿、糞やもみ殻、トウモロコシ、醤油や大麦麦芽（ビール）の搾りかすなど、あらゆるものを材料に使っている。その土地ごとに採れるものが違うので、その土地にあった材料で堆肥を作ることが大事であると教えていただいた。

・ミャンマーから研修生が訪日した場合にも、研修をしていただけると確約いただいた。

—出席者—

- ・ 高橋憲二様
- ・ ミヤットウーさん
- ・ 井田理事、羽中田事務局長

千葉県いすみ市高秀牧場の循環型農家の取り組みから



牛に与える餌は、多くの飼料（大豆カス・麦芽カス・トウモロコシなど）をブレンドして与えている



牛の糞は、溝に落ちる仕組みになっている。溝に落ちた糞は、ベルトコンベアで一カ所にまとめられる



牛の糞は、一旦この場所に集められ、発酵を促す



牛の尿を溜めている池。空気を循環させ、アンモニアを除去する仕組みになっており、臭いは全く無い



収穫したトウモロコシなどは、圧縮して保存する



出来上がった堆肥。臭いも全く無い。この状態を袋詰めして全国に配送している

⑦ 2023年10月19日 13時～15時

・研修生が東京農工大学に留学した場合と、他感作用研究所にて研究した場合の費用について比較検討した。また、プーさんの研究について、東京農工大学の有江教授の協力をいただくよう依頼することとなった。

・ミャンマーから日本に来るにあたって、どのような出国手続きが必要か、プーさんに確認いただくように連絡をとることにした。

—出席者—

- ・藤井名誉教授
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

⑧ 2023年10月19日 18時～20時

・共和リサーチセンターの首藤信彦所長より、ミャンマーの実態について講演をいただき、勉強会を行った。

・ミャンマーの現国軍政権に反対している人たちは、不服従運動をしており、国軍から多くの弾圧を受けている。ミャンマーに隣接するタイ国に難民として逃げて行く人も多く、そこではミャンマーの人が低賃金で労働をして難民として暮らしている。難民施設での農業を発展させるためにも支援を検討して欲しいと話があった。

—出席者—

- ・首藤信彦様
- ・鳩山理事長、芳賀理事、西川理事、井田理事、攪上理事、羽中田事務局長

⑨ 2023年11月16日 13時～15時

・ミャンマー農地の改良について、堆肥だけでなく緑肥についても有効と思われるので検討をしていくこととなった。

・プーさんとZOOMで会議を行い、友愛のミャンマー農業支援事業に関して、正しく理解して実践していく意思を確認することとした。

—出席者—

- ・藤井名誉教授
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

⑩ 2023年11月25日 14時～

・ミヤットウーさんに対して、研修生の人選の経過の共有と、研修内容・スケジュールについて情報共有を行った。

・今回の支援事業に関して、正しく理解して実践していく意思を確認する目的でプーさんとZOOMで会議を行うことを共有し、参加の依頼と通訳をお願いした。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん
- ・井田理事、羽中田事務局長

⑪ 2023年12月10日 14時～16時

・プーさんに対して、友愛のミャンマー農業支援の取組を、2014年から今までの経緯について説明した。

・7年間の農業指導者支援育成事業を通じて、質と量を求める農作物を生産するには、土壌改良(施肥)の必要性があると認識したこと、2021年度からは農作物の質・量を増やす一助となるべく、解りやすい(ミャンマー語表記・イラストなど多用して)リーフレットを作成し、ミャンマーの農村地帯で配布することを目標としてきたことを説明した。

・プーさんからは、ミャンマーの農業発展のためには日本の技術が必要であること、土壌改良やサツマイモやその他の野菜についても勉強したいと希望があった。

・ミャンマーでは、ガソリンも十分に買えない状況であるので、研究を実践できる場所として友愛ファームなどがあると助かるとのことであった。

・プーさんには、学校だけでなく企業側・政府側にも人脈があるので、今回のプロジェクトにお役に立てるであろうこと、自分一人ではないので、グループみんなであればリーフレット配布も大きな規模でできると思うこと、友愛の仕事に情熱をもって取り組みたいと発言があった。

—出席者—

- ・藤井名誉教授、プーさん
- ・ミヤットウーさん

- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

⑫ 2024年2月6日 10時30分～12時

・ZOOM会議を行い、プーさんの具体的な訪日研修スケジュールを話し合った。短い期間で、効率的に農地を見学できることから、訪日スケジュールは6月上旬がよいとの意見でまとまった。日本の田植えや、畑の作業、肥料による土壌作りなど見学時期に適していると思われる。

・ビザ取得に向けて訪日スケジュールを作成し、手続きをしてもらうように連絡することとなった。

—出席者—

- ・藤井名誉教授
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

上記の打ち合わせ等を総合し、下記のようなパンフレットのイメージ案を作成した。



表紙案



(A5サイズ 12ページ～16ページを想定している)

2024年度は、パンフレット作成・配布の実施に向けて事業を進めていきたい。

2、表彰事業

（定款 第 4 条 第 1 項 第(2)号に基づく事業）

(1) 小論文コンテスト

事業概要

イギリスの哲学者「フランシス・ベーコン」が「友愛の理念を以て、全人類の融和を」と説いたように、友愛理念の啓発は次世代を担う若者にこそ必要で、世界の平和に資する若者の育成は、必要欠くべからざる事柄である。世界の融和を求めるとき、隔たりとなる要因の一つに言語があり、世界でも特殊な言語である日本語を理解できる人材の育成は、友愛理念の啓発に重要な要素といえる。中国国内にある諸大学の協力を得て友愛についてのレクチャー（講演・ビデオ等）を行い、参加学生より小論文を日本語で募り、優秀作品を表彰する。

事業実施

2023年度は、昨年に引き続き中国国内の大学2校（北京外語大学・北京科技大学）に於いての実施を目指してきたが、カウンターパートである中国国際青年交流中心においても、実施の具体的な方法がつかめず終始した。

このような状況下にあつて、中国国内にのみ絞って行えば、実施の目途が具体化しないため、中国国内への接点も保った状態を保ちつつ、それ以外の具体的な実施に向けて、運営委員会、理事会での打合せを重ね、韓国及び日本国内においての実施に向けて始動した。

1、韓国／全州大学校における事業実施

① 2023年12月21日（木）15時30分～16時15分 ノボテルアンバサダーソウルにおいて、Gunki Bae（ペーコンギ）全州大学校総長、鳩山由紀夫理事長、芳賀大輔理事、攪上哲夫理事、文炳吉鳩山事務所顧問／通訳：申富浩東アジア共同体研究所特別顧問の6名出席のもと、「小論文コンテスト」実施に向けての打ち合わせが行われた。

② 事業の主旨：「相互尊重・相互理解・相互扶助」を基調とする友愛理念の啓発は次世代を担う若者にこそ必要である。世界の融和を求めるとき、隔たりとなる要因の一つに言語があり、世界でも特殊な言語である日本語を理解できる人材の育成は、友愛理念の啓発に重要な要素といえる。友愛について的小論文を日本語で募り、優秀作品を表彰する。

③ 上記主旨にご理解をいただき、事業の実施が約束された。

*韓国の学期の関係で、実際の実施は2024年5月末となり、2024年度事業として実施することが理事会で承認された。

2、日本国内における事業実施

- ①日本に在住し、日本語を学ぶ学生を対象に、「友愛小論文コンテスト」を実施し、友愛理念の普及、相互理解、国際交流の推進につなげることを目的とする。
- ②日本国内の実施については、第33回理事会（2024年3月22日開催）での承認となったため、具体的な実施は2024年度事業として行う。
- ③現在の候補／千代田国際学院

3、普及啓発活動

（定款 第4条 第1項 第(3)号に基づく事業）

事業概要

機関紙『友愛』の発行（隔月年6回）、ホームページでの活動状況の報告及び情報開示（法令で定められた情報開示を含む）を実施。

併せてリーフレット・書籍等の作成、配布及び友愛理念についてのレクチャー（講演・ビデオメッセージ）など行い、本財団の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念の普及に努める。

これらを以て定款に定めるところの世界平和に資する事業として行う。

事業実施

(1) 創立70周年記念事業

▶友愛創立70周年記念式典開催

2023年7月22日（土）11時から、鳩山会館において「友愛創立70周年記念式典」が開催された。

来賓の方々、全国各地からの会友、関係各位などおよそ150名の方々が集い、盛会裡に終了した。

会場では70周年記念楽曲『希望の道』が作曲者である渡邊康雄氏により演奏、披露され、友愛の歴史と未来を象徴する曲として、参列者から讃美の拍手が贈られた。旧交を温めあう会友、若いエネルギーできびきびと動き回る友愛ユニオン、和やかで華やかな交流が繰り広げられた。



鳩山由紀夫理事長

友愛創立 70 周年記念式典

2023 年 7 月 22 日（土） 於：鳩山会館

次第 11:00～14:00

- 11:00 ・開会 司会進行／友愛 理事 芳賀大輔
 - ・黙 禱
 - 11:15 ・挨拶 公益財団法人友愛 理事長 鳩山由紀夫
 - ・来賓紹介
 - ・来賓祝辞
 - ロシア連邦 臨時代理大使
オヴェチコ・ゲンナーディー公使参事官
 - モンゴル国 特命全権大使
ダンバダルジャー・バッチジャルガル 閣下
 - ・祝電紹介
 - 11:50 ・記念楽曲披露 作曲家 渡邊康雄先生
 - 12:00 ・記念撮影
- *****会場移動*****
- 12:30 ・懇親会 司会進行／友愛理事 井田安信
 - ・来賓祝辞 友愛前常務理事 川手正一郎様
 - ・乾 杯 友愛理事 谷藤悦史 早稲田大学 名誉教授

~~~~~ 懇 談 ~~~~~
  - 14:00 ・閉会挨拶 友愛評議員 戸澤英典 東北大学教授・法学部学部長



館内の会場入り口に今日を迎えたご報告、そして一緒にこの式典を祝っていただくべく鳩山一郎・鳩山薫・鳩山威一郎・鳩山安子・鳩山邦夫各先生の遺影が飾られた



この日のために渡邊康雄氏により作曲された『希望の道』が、渡邊康雄氏ご本人の演奏で初めて披露された



在日ロシア連邦大使館 オヴェチコ・ゲンナーディー公使参事官



在日モンゴル国大使館 ダンバダルジャー・バッチジャルガル特命全権大使閣下



友愛創立時から 70 年間、友愛活動を牽引してきた川手正一郎前常務理事



鳩山会館の庭には、多くの方が集い、強い日差しの中、式典は順調に進められた



全国各地から、ご参会いただいた記念式典は思い出に残る一日となった



真夏の日差しが真上から差し込んでいる会場で、参加者の方々はそれぞれの思いを胸に、挨拶の言葉に耳を傾けた



常に友愛理念を説き、平和と民主主義の大切さを説く谷藤悦史理事(早稲田大学名誉教授)



若者を育てるを合言葉に、友愛ユニオンの誕生にも一役買った戸澤英典評議員(東北大学教授)



友愛ユニオンの活躍を、鳩山由紀夫理事長が讃えた



### ▶友愛創立 70 周年記念DVD作成

友愛創立 70 周年を記念して作成されたDVDが完成。発送の準備が整い、皆さまにお届けできるようになった。

記念DVDは2枚組になっており、1枚目（写真下右上のDVD）には第1部データベースとして、創立時から今日に至るまでの年表、HPから収録した「写真で見る活動記録」そして機関紙『友愛』創刊号から第587号までの全てが納められている。また、創立40周年記念誌『友愛の旗のもとに』及び「友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール」の歴史も資料として納められている。

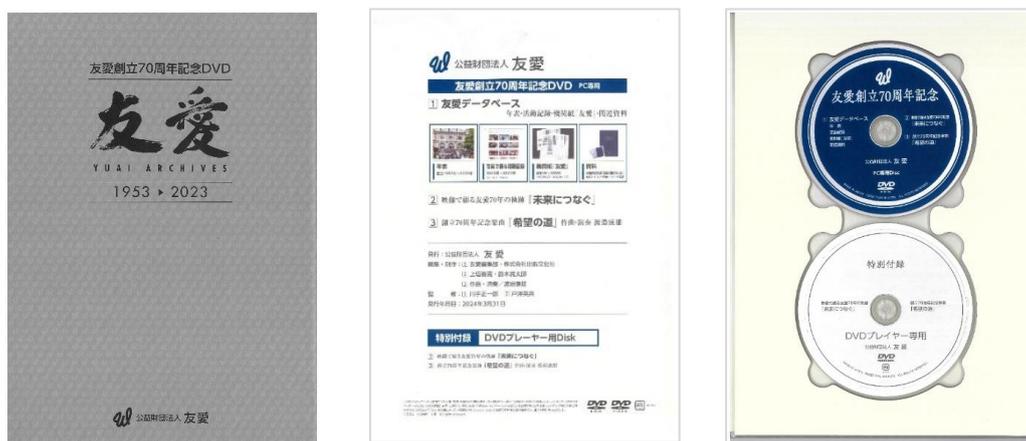
第2部は、記念事業として制作された動画・映像で綴る友愛70年の軌跡・『未来につなぐ』。友愛の活動の歴史を大きな視点から捉え、過去から現在に至る軌跡が、観て楽しく解り易い動画に纏められている。

第3部は、創立70周年記念楽曲『希望の道』が作曲者渡邊康雄さんご自身の演奏で収められている。荘厳な中にも友愛理念の広がりをおもわせる希望に溢れた素晴らしい作品である。

これらの全てはパソコンで観ることができる仕様になっている。

DVDの2枚目（写真下右下／白いラベル）は、第2部と、第3部がDVDプレーヤーで観ることができる「DVDプレーヤー専用」仕様となっており、パソコンでもDVDプレーヤーでもご覧頂くことができる組合せになっている。

表紙（写真左）は、友愛のロゴを配した銀色の地紋に、鳩山由紀夫理事長の揮毫が美しい豪華な仕上がりである。中身の見えるケースもついている。



## (2)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、6回発行された。

### 2023年(令和5年)度機関紙『友愛』発行履歴

2023年5月(第582号) 4,000部発行

- ▶第27回通常理事会開催 2023年度事業計画・事業予算承認  
友愛創立70周年記念式典開催 詳細決定  
7月22日(土) 鳩山会館にて開催
- ▶2022年度OEJAB派遣第2陣・帰国報告その1  
12人で過ごしたウィーンの日々  
派遣員全員が一致団結 友愛の思い開花
  - ・オーストリア派遣を終えて感じたこと 奥山千波
  - ・社会との接点・居場所が持つ意味 田島桃子
  - ・社会のために、世界のために 北島貴央
  - ・総勢12人の旅 龍 舞香
  - ・言い古された言葉「百聞は一見に如かず」 小倉佑太
  - ・社会を創る「人」を大切に 佐野翔子

2023年7月(第583号) 4,000部発行

- ▶第6回定時評議員会開催  
2022年度事業報告・計算書類承認  
役員及び評議員選任  
友愛ユニオンから理事・評議員誕生
- ▶第29回臨時理事会  
鳩山由紀夫理事長再任 全会一致で選任
- ▶2022年度OEJAB派遣第2弾・帰国報告その2  
ウィーンで育まれた強い絆  
個性豊かな12人が友愛を旗印に団結
  - ・ウィーンで学んだ「共生」の道 堆 美優
  - ・オーストリア派遣を終えて 弟子丸香歩
  - ・「多様性と個人」 田内和久ラザルス
  - ・世界平和への一助となる活動を ニケライ・ベッヘナーゼ
  - ・車の車輪 藤田脩椰
  - ・憧れの国への旅を終えて 女鹿笑奈

**2023年9月(第584号) 4,000部発行**

- ▶友愛創立70周年記念式典開催  
2023年7月22日(土)鳩山会館にて  
友愛創立70周年記念式典を終えて 理事長 鳩山由紀夫
- ▶友愛創立70周年記念式典 一紙上にてご紹介します
- ▶参加者の声
  - ・友愛の未来を信じて 小峰秀子
  - ・友愛の温故知新 岡崎洋一郎
  - ・友愛の不変なること 橘 颯太郎
  - ・「友愛」創立時の機関紙より 理事 攪上哲夫
  - ・70周年記念式典を超えて希望の道へ 理事 西川伸起

**2023年11月(第585号) 4,000部発行**

- ▶第30回通常理事会開催  
運営委員・選考委員を承認  
OEJAB派遣・ミャンマー農場支援・小論文コンテストなど各事業も順調に推進
- ▶鳩山由紀夫理事長  
中国・一帯一路フォーラムで講演  
友愛の大切さを強調
- ▶70周年記念動画『未来につなぐ』完成  
友愛70周年の歴史と共にDVDに収録  
創立70周年記念楽曲『希望の道』も収録
- ▶李克強前首相ご逝去
- ▶ありがとう 友愛山荘
  - ・軽井沢で紅葉に囲まれて 手塚七彩
  - ・友愛合宿を終えて 女鹿笑奈
  - ・発送力・発信力を活かそう 北島貴央
  - ・惜秋の友愛山荘 藤田脩椰
  - ・ありがとう、私たちの友愛山荘 小倉佑太
  - ・充実の友愛山荘合宿 龍 舞香
  - ・友愛理念と軽井沢の景色 鈴木健太
  - ・様々な話題、十人十色の考え 橘 颯太郎

**2024年1月(第586号) 4,000部発行**

- ▶新春巻頭言  
若者の活躍に期待 理事長 鳩山由紀夫
- ▶2023年度 OEJAB派遣員  
個性豊かな6名が綴る「期待と抱負」  
—友愛勉強会を終えて、「友愛」についても考えをまとめました—

- ・中央大学 法学部2年 巳上 小楽咲(みかみ さらさ)
  - ・千葉大学 医学部6年 金子 紗也佳(かねこ さやか)
  - ・九州大学 共創学部3年 三浦 愛佳(みうら あいか)
  - ・東京大学 理学部4年 出倉 正啓(でくら まさひろ)
  - ・北海道大学 農学部4年 矢野 由佳(やの ゆうか)
  - ・東北大学大学院工学研究科修士2年 大野誠尚(おおの まさたか)
- ▶2023年度OEJAB派遣員事前研修会  
友愛ユニオン勉強会・友愛ユニオン懇親会  
クリスマスを前に賑やかに開催  
講師に田中聰司さんをお迎えして平和の大切さを被爆体験とともに

## 2024年3月(第587号) 4,000部発行

- ▶第32回通常理事会開催  
次年度事業に新たな展開を検討  
小論文コンテスト—韓国全州大学校で開催  
OEJABからの来日を友愛ユニオンがアテンドなど
- ▶友愛創立70周年記念DVD配送開始  
動画で綴る70年「未来へつなぐ」  
70周年記念楽曲「希望の道」(演奏)  
機関紙『友愛』創刊号から収録と資料も充実
- ▶2023年度OEJAB派遣員  
元気に出発・期待を胸に6名の体験旅行が始まる
- ▶内閣府公益認定等委員会による立ち入り検査  
優良団体の評価を受ける  
鳩山理事長他4名の理事立ち会いのもと実施
- ▶読者のページ—機関紙『友愛』に寄せられた投稿のご紹介—
  - ・日中文化交流の懸け橋  
LXY国際交流研究所代表 劉幸宇
  - ・カンボジア体験記  
福井大学 医学部医学科6年 河野亜希
- ▶2024年度 内閣府青年国際交流事業  
様々な体験が、待ち受けています 奮って応募しましょう
- ▶資料室公開開始  
友愛の歴史を語る様々な資料が充実  
鳩山一郎先生の著書初版本も収蔵

### ◆ 送 付 先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所へ郵送

また、関係各所にて配布を実施。

海外関係先へ送付、配布依頼(中国国際青年交流中心・北京理工大学等)。

### (3) 「友愛ユニオン勉強会」開催

国際交流事業の一環として実施している派遣事業（OEJAB・アジア・アフリカユースフェスティバル・一带一路世界大会等）の経験者で構成される「友愛ユニオンの会」が、開催された。この会は、国際交流事業及び普及啓発活動の一環として活動を行っており、友愛の事業についての普及宣伝・友愛の事業参加への誘いなどを発信している。派遣員としての自らの体験を基に、友愛の事業への取り組み、また友愛理解のための活動などを積極的に行っている。

当日は、各人が近況報告、今後の友愛活動についてなどを語り合い、情報交換と親睦を深めた。前回の派遣員は、既に社会人になっている者も混じる。鳩山由紀夫理事長を囲んで、楽しく有意義な時間を過ごした。

#### 「平和」を学ぶ

2023年12月23日（土）15：30～17：00

於：友愛サロン

▶講師：田中聡司 広島被爆者団体 代表

被爆78年の証言「何を」から「いかに」へ

▶出席者

- ・鳩山由紀夫（公益財団法人友愛 理事長）
- ・戸澤英典（東北大学教授 公益財団法人友愛 評議員）
- ・西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
- ・井田安信（公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当）
- ・攪上哲夫（公益財団法人友愛 理事 小論文コンテスト事業担当）
- ・田中正基（公益財団法人友愛 評議員）
- ・後藤大智（公益財団法人友愛 理事 2019年度友愛派遣員）
- ・河口ハルトマンミヒヤエラ（公益財団法人友愛 顧問）
- ・田中佐知子（公益財団法人友愛 顧問）
- ・鳩山紀一郎
- ・2019年度派遣員 木本康瑛・森崎桃子・成田 葵
- ・2020年度派遣員 小倉佑太・浦 彩人・手塚七彩・田島桃子
- ・2021年度派遣員 鈴木健太・北島貴央
- ・2022年度派遣員 藤田脩椰・女鹿笑奈
- ・橘 颯太郎（2022年度友愛ユニオン）
- ・2023年度派遣員 出倉 正啓・大野 誠尚・巳上 小楽咲・矢野 由佳・三浦 愛佳



#### (4) 友愛ユニオン交流会 開催

2023年12月23日(土) 17:30～

於: 友愛サロン

研修会・勉強会と共に、後に行われた懇親会の様子等を写真で綴った小冊子『One Day』を作り、参加者及び関係各位に配布した。



#### (3) ホームページの公開・更新

- ① 随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ② 友愛会員登録はホームページから可能に設定してある。
- ③ 機関紙『友愛』バックナンバー(第1号～最新号[587号])の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。
- ④ QRコードを設定し、機関紙『友愛』紙上など機会をみて掲示。一人でも多くの人に手軽にスマートフォンでホームページにアクセスできるよう普及に努めた。
- ⑤ 問い合わせ専用ページを作成し、メールでの問い合わせ連絡、寄稿など、利用しやすく改良した。



## IV 業務執行

### 1、理事会開催

#### 第 28 回 通常理事会

開催日：2023 年 6 月 16 日（金）18 時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：資産運用に関する現状報告、OEJAB への派遣・受入  
事業について、ミャンマー農業指導者育成事業、70 周年記念誌など  
協 議 事 項：(1) 2022 年度事業報告に関して  
(2) 2022 年度計算書類に関して  
(3) 評議員会に推薦する次期役員候補に関して  
(4) 評議員会の開催に関して  
(5) 運営委員会・選考委員会の人員の承認に関して

#### 第 29 回 臨時理事会

開催日：2023 年 6 月 25 日（日）12 時～

場 所：友愛サロン

議 事：協 議 事 項：(1) 代表理事の選定

#### 第 30 回 通常理事会

開催日：2023 年 10 月 13 日（金）18 時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：公益法人協会主催／公益法人のための講習会参加報告  
ミャンマー農業指導者育成事業、OEJAB への派遣・  
受入事業について、70 周年記念誌など  
協 議 事 項：(1) 選考委員の選任  
(2) 運営委員の選任  
(3) 友愛勉強会講師／田中聰司氏依頼の件  
(4) 文天ビル 4 階の借り受けの件  
(5) 友愛 HP に鳩山友愛塾 HP を統合させる件  
(6) 日唄文化協会への入会・会員資格に関して  
その他：11 月 3 日（金・祝）～11 月 5 日（日）友愛山荘宿泊に  
ついて

### 第31回 通常理事会

開催日：2023年11月10日(金) 18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：内閣府／公益等認定委員会 立ち入り検査連絡あり、文  
天ビル4階の借り受けに関して、ミャンマー農業指導  
者育成事業、OEJABへの派遣・受入事業について、  
OEJAB訪問に関して、友愛小論文コンテスト、11  
月3日(金・祝)～11月5日(日)軽井沢友愛山荘合宿  
協 議 事 項：(1)2023年度OEJAB派遣員の選任(選考委員会  
答申の承認)  
(2)友愛小論文コンテストの韓国での開催について  
その他：友愛ユニオン勉強会(OEJAB派遣員事前研修会も  
同日)開催2023年12月23日(土)

### 第32回 通常理事会

開催日：2024年2月15日(木) 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：内閣府／公益等認定委員会 立ち入り検査連絡あり、  
ミャンマー農業指導者育成事業、OEJABへの派遣・  
受入事業について、小論文コンテストに関して、OEJ  
ABへの派遣・受入事業について、OEJAB訪問に関  
して、友愛小論文コンテスト、理事の担当業務について、  
2024年度事業計画(案)について  
協 議 事 項：(1)OEJAB訪問について  
(2)OEJAB受入について  
(3)友愛小論文コンテスト 韓国/全州大学校での事業  
実施について

### 第33回 通常理事会

開催日：2024年3月22日(金) 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：内閣府／公益等認定委員会 立ち入り検査実施(202  
4年2月28日(水))、ミャンマー農業指導者育成事業、

OEJABへの派遣・受入事業について、小論文コンテスト、2024年度事業計画及び事業予算について、定款の一部変更について、井田安信理事の雇用について、評議員会の開催について

- 協議事項：(1) 2024年度事業計画書  
(2) 2024年度収支予算書  
(3) 友愛小論文コンテスト 韓国／全州大学校での事業実施に於いて同行理事及び派遣する友愛ユニオンメンバーについて  
(4) OEJAB派遣員の受け入れに於いて友愛ユニオンメンバーにアテンドを依頼し同行させる件について  
(5) 定款の一部変更について  
(6) 井田安信理事の雇用について  
(7) 評議員会の開催あるいは書面による決議の実施について定款変更の承認のため

## 2、評議員会開催

### 第6回 定時評議員会

開催日：2023年 6月25日（日）10時～

場 所：友愛サロン

議 事：業務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して代表理事および業務執行理事の職務執行報告

- (1) 小論文コンテストに関して
- (2) ミャンマー農業支援・指導者育成事業について
- (3) OEJABへの派遣・受入事業について
- (4) 友愛創立70周年記念事業（記念誌作成等）に関して

- 協議事項：(1) 2022年度事業報告について  
(2) 2022年度計算書類について  
(3) 任期満了に伴う役員の選任に関して

### 第7回 臨時評議員会（書面による決議）

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、第96条及び本財団定款第46条に基づき、協議事項に関して書面により決議をした

発 送 日：2024年 3月22日(金)

決 定 日：2024年 4月19日(金)

議 事：第一号議案・定款の一部(第31条)変更に関して

### 3、担当理事打ち合わせ会(運営委員会)開催

下記日程・時間の通り、事業を担当する理事が集まり、事業の実施について話し合う会が開かれた。

それぞれの事業の現状報告・問題提起・今後の方針など情報を共有し、事業を実行推進していくための話し合いが行われた。

なお、「担当理事打ち合わせ会」は、「運営委員会」として取り扱われることが、第20回通常理事会(2022年3月26日開催)において承認された。

#### 【担当理事打ち合わせ会メンバー】

芳賀大輔理事／70周年記念事業担当

井田安信理事／ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当

西川伸起理事／OEJAB受入・派遣事業担当

攪上哲夫理事／友愛小論文コンテスト事業担当

#### 【開催日・時間】

2023年 5月 6日(土) 11:00~14:00

2023年 5月15日(月) 18:00~20:00

2023年 6月 8日(木) 17:00~19:00

2023年 7月 5日(水) 18:00~20:00

2023年 9月20日(水) 18:00~20:00 理事長参加

2023年11月 1日(水) 18:00~20:00

2024年 2月 9日(金) 13:00~14:00 Web会議

2024年 3月12日(金) 18:00~20:00